

年報・リサーチペーパー等

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は 発表学会等の名称	概 要
『将来展望をひらく鍵』	単	1989年10月	「経営情報 まがじん」 東京商工会議所 (8～9頁)	今日、組織及び個人が直面している課題はかつて経験したことの無い未知の領域にまで広がっている。組織にあってはリストラクチャリング（事業の再構築）であり、個人にあっては自立（自律）に裏打ちされたライフ・デザインがそれぞれのメイン・テーマである。本稿は、3年から5年先ぐらい迄の将来展望を開く鍵について、3つのキーワード「Awareness」「Value」「Image」を手掛りにして論述したものである。
『90年代人材育成のあり方』	単	1990年4月	「エクサ通信」 東京ビジコン (5～6頁)	本稿は、人的資源管理論の中の一つのセッションである人材開発論の観点から、ヒューマン・ウェアの革新のあり方について、論じたものである。先行き不透明でありスピード・アップしている状況において、目指す経営をバックアップするための人材の開発はどのように考え実践していくのか、その一つの解を環境創造型アプローチに求めている。それは、経営目的の実現にとって効果のある人材開発に眼を向け、経営ビジョン・経営戦略・経営計画と人材との相互関係性を描き相乗効果を高めることをねらいにしたアプローチである。
『人の流動がもたらす企業文化への影響』	単	1990年9月	「光友」 (株)ニコン (10～11頁)	本稿は、ホスピタリティの視点に立って、組織を人と人との「コミュニケーションの場」と捉え、「他組織から移ってきた人とそれを受け入れる人とが、どのようにコミュニケーションし合えばお互いに企業文化形成の担い手になり得るか」、について考察したものである。すなわち、異質排除の考えから脱して、同質と異質が対話することで新たな企業文化を開発していこうとする取り

				組みについて、一つの調査を拠り所にして論述した。
『中高年齢者のセルフ・マネジメント行動に関する援助プログラム～援助体系の構築へ向けて～』	単	1994年6月	全日本能率連盟発表 第45回全国能率大会発表論文研究論文集 (全15頁) (3～17頁)	本稿は、人材開発論に立脚し、21世紀へ向けて労働力人口が急速に中高年齢化していく中での人材戦略の策定とその実践について考察したものである。中高年齢者に対しては、今後とも積極的に活用する立場とコスト的視点から削減に向かう立場の二つの対応が見受けられる。本稿は、前者の立場から中長期的視点に立ち、中高年齢者が組織の中で主体的に判断し行動して成果を上げ、職業人として前進・成長するためのコンテンツについて論述したものである。(1994年 全日本連盟賞 受賞)
『ベンチャー企業における人事システムの創造 ～経営ビジョンの実現をめざして～』	単	1996年12月	全日本能率連盟発表 第48回全国能率大会発表論文研究論文集 (全13頁) (14～26頁)	本稿は、人的資源管理論の実践編として位置づけるものである。アンケート調査、ならびにヒアリング調査に基づいて、人事システム構築のためのコンセプトの確立、目標・実行主義の基幹システムの構築、人事考課・賃金等のサブシステムの構築について、それぞれのねらいと内容を論述したものである。ベンチャー企業の特徴を生かし事業を成功へ導くために、静態的な序列管理・集団管理から組織メンバーごとの個人別マネジメントへの転換について考察した。(1997年 通商産業省産業政策局長賞 受賞)
『ネットワークとマネジメントに関する調査研究』	単	1998年8月	産能大学総合研究所 リサーチペーパー 98-5 (全87頁) (1～84頁)	ホスピタリティの観点から、組織間ネットワークと情報ネットワークに関する実態調査に基づき、新たな価値創造を目的にしたマネジメントのあり方についての仮説を検証し考察した。ホスピタリティとの関係でネットワーク概念を核とするマネジメントの基本概念を明らかにし、グローバルな経営環境のもとでの経営行動とマネジメントのあり方を探究していくための手掛かりを得ようとして行なったものであり、「ホスピタリティ・マネジメント」の基礎研究として位置づけるものである。

				(上場企業アンケート調査による)
『学生相談室年報の発刊に寄せて』	単	2008年9月	『目白大学学生相談室年報』創刊号 (1頁)	目白大学学生相談室年報創刊号の発刊にあたって、学務部長(学生担当)として、学生教育・指導上の要諦を明らかにして示したものである。
『学生相談室年報第2号の発刊に寄せて』	単	2009年9月	『目白大学学生相談室年報』第2号 (1頁)	目白大学学生相談室年報第2号の発刊にあたって、学務部長(学生担当)として、学生教育・指導上の要諦についてまとめたものである。
『ホスピタリティ・マネジメントコース 事始め』	単	2009年3月	『目白大学経営学研究』第7号 (69～80頁)	目白大学経営学部の中に、「ホスピタリティ・マネジメントコース」を開設した。目白大学での経営学において、ホスピタリティ教育・研究の中核を担うという志のもと、コース立ち上げの背景、経緯、今後の展望について、それぞれ論じたものである。
『経営学科における「学士力」の育成方針について』	単	2011年3月	『目白大学教育研究所・人と教育』第5号 (34～39頁)	目白大学経営学部経営学科における学士力を明らかにしたうえで、学士力育成のための教育手段について論じたものである。アドミッションポリシー、教育課程の編成方針、コース別の教育、卒業論文公開審査、また経営学科発展のための施策として、力の入れどころプロジェクト、ならびにプラスの相乗効果を引き出すための10の施策について、それぞれ論じたものである。
『BIAH・28 平成28年度ブライダルコーディネーター養成講座東京会場』	共	2016年8月	『BIAH・28』平成28年度BIAブライダルコーディネーター養成講座講義資料 (37～51頁)	「ブライダルにおけるホスピタリティ」というテーマで執筆したものである。